

労働金庫連合会 労金連 は 労働金庫 ろうきんの 中央金融機関です。

労金連は、協同組織の福祉金融機関である
ろうきんを会員とする中央金融機関として1955年に設立されました。
以来48年にわたって、ろうきんが行う金融活動を支え、
労働金庫業界の健全な発展に寄与するための
事業を行ってまいりました。

労金連は、今後も、「ろうきんの理念」のもと、
ろうきんのセントラルバンクとしての機能を発揮するとともに、
ろうきん業界の信用力の維持と向上に努めてまいります。



プロフィール

労金連の概要

(2003年3月31日現在)

店舗数	1
常勤役職員数	295人
会員数	21労働金庫
資金量	3兆6,857億円 (預金+譲渡性預金+金庫短期資金)
貸出金残高	5,692億円
出資金	1,200億円
自己資本比率	10.35% (国内基準)

全国労働金庫の概要

(2003年3月31日現在)

金庫数	21
店舗数	688
常勤役職員数	10,949人
会員数	211,757会員
間接構成員数	10,400,347人
預金残高	13兆3,937億円 (譲渡性預金含む)
貸出金残高	8兆7,266億円
出資金	802億円
自己資本比率	(全国平均)9.37% (国内基準)

全国労働金庫の数値は速報値